

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2012-524523(P2012-524523A)

【公表日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2012-501380(P2012-501380)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 N 5/10 (2006.01)

C 12 Q 1/02 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 N 5/00 1 0 2

C 12 Q 1/02

C 12 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月26日(2013.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガウシア・ルシフェラーゼ(G L u c)レポータータンパク質およびその誘導体をコードするDNA配列を含む発現力セットであって、前記DNA配列は、ゲノム損傷に応答してガウシア・ルシフェラーゼ(G L u c)レポータータンパク質をコードするDNA配列の発現を活性化するように配列されたヒトG ADD45 遺伝子調節エレメントと、ヒトG ADD45 遺伝子プロモーターとに機能的に連結している発現力セット。

【請求項2】

前記調節エレメントは、前記G ADD45 遺伝子のイントロン3の少なくとも1つの領域を含む、請求項1に記載の発現力セット。

【請求項3】

前記調節エレメントは、推定p53結合モチーフを含む、請求項2に記載の発現力セット。

【請求項4】

ガウシア・ルシフェラーゼ(G L u c)をコードするDNA配列は配列番号1の位置2641～3198に示されたものである、請求項1～3のいずれか1項に記載の発現力セット。

【請求項5】

実質的に図2に示され、配列番号2により提供されている、発現力セットG D 5 3 2 - G L u c。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載の発現力セットを含む組換えベクター。

【請求項7】

実質的に図2に示され、配列番号1により提供されている、組換えベクターp E P - G

D 5 3 2 - G L u c o s e 。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の発現カセットまたは請求項 6 もしくは 7 に記載の組換えベクターを含有する細胞。

【請求項 9】

前記細胞は、ヒト細胞である、請求項 8 に記載の細胞。

【請求項 10】

前記細胞は、完全に機能的な p 5 3 を有するヒト細胞である、請求項 9 に記載の細胞。

【請求項 11】

前記細胞は、TK6 ヒト細胞株である、請求項 10 に記載の細胞。

【請求項 12】

ゲノム損傷を誘導または増強する物質の存在について検出する方法であって、請求項 8 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の細胞を物質に曝露させるステップと、前記細胞からの G L u c レポータータンパク質の発現を測定するステップとを含む方法。

【請求項 13】

前記物質は、生体を前記物質に曝露させることができが安全かどうかを評価するためにさらにスクリーニングされる、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記物質は、候補薬剤、食品添加物または化粧品である、請求項 12 または請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 8 ~ 11 に記載の細胞の集団、または請求項 6 もしくは 7 に記載の組換えベクターによりトランスフェクトされた細胞を調製するステップと、前記細胞を規定時間にわたり前記物質とともにインキュベートするステップと、前記 G L u c レポータータンパク質の発現を前記細胞のサンプルから直接測定するステップとを含む、請求項 12 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 16】

前記方法は、S 9 肝抽出物の存在下で実施される、請求項 15 に記載の方法。